

しゃかいふくし ほうじん いわて かいこうほう し
社会福祉法人 岩手ひだまり会広報誌

ひだまり

2022.6
Vol.24



えがお
みんな笑顔で

え さ し だ い に さ く ら ぎ
ひだまり江刺第二桜木



新年度のご挨拶



理事長
高橋洋子

常日頃、皆様には岩手ひだまり会の運営にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。今年も雪が多かったなと感じる冬でしたが、入学・進級した利用者さん、そして高校生活を終え社会人になった利用者さんの姿を見て、新年度のはじまりを実感しているとこです。皆さん、おめでとうございませう。

ひだまりも、NPO法人から数え十七年目の社会福祉法人になってから八年目を迎え、多くの利用者さんの学童期・青年期を中心に支援をしてきました。現在は、就学前の児童発達支援も含め、医療的ケアや重症心身障がいのある利用者さんの支援にも力を入れております。昨年六月の国会で「医療的ケア児及びその家族に対する支援法」が成立し、九月より施行されています。ひだまり水沢☆きらり

は、令和二年五月より奥州市総合水沢病院近くに開設し、少しずつですが、医療的ケア児や重症児が通えるデイサービスとして関係機関の方々にも認知されてきました。この法律の施行により、医療的ケアが必要なお子さんの地域の保育園や学校への通園・通学が拡大することを期待します。そのために、当法人も関係機関と協力しながら、どんな障がいがあっても地域での暮らしの実現に寄与していく所存です。

さて、今年度につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症予防策をしながら、昨年度から課題となっていた事項を一つずつ解決し、取り組んで参りたいと思います。また、来年度開所に向けて計画している事業もありますので、皆様に公表ができる段階になりましたら、お知らせしたいと思います。すでに新型コロナウイルスの発生から二年以上が経過し、なかなか行事等も開催できておりませんが、早く収束し、利用者・ご家族の皆様とともに交流できる日がくることを願っています。今年度もご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。

離れた場所でも音楽療法



音楽療法にもリモート活用

岩手ひだまり会では、コロナ禍でも利用児・者の皆さんが楽しく活動できるよう、様々な工夫をしています。

今回は新たな試みとして、毎月行っている音楽療法にZOOM（ズーム）インターネット上で会議などを行う事が出来るアプリ）を用いた、リモート形式（遠隔地同士をインターネット上で繋ぐ方法）を採用しました。以前は対面で行っていた音楽療法をリモート形式にすることで、各事業所からパソコンを使って参加することが可能になり、参加者が一か所に集合することによって起こる感染リスクを軽減する事が出来ます。対面とは異なる事も多いですが、子どもたちの安全性を確保しながら活動を提供できるよう、音楽療法士の先生方にもご協力いただきながら今後も取り組んでいきたいと思っております。



スクリーンに大きく映し出し、画面越しでも先生の表情が伝わりやすいよう工夫しています。



じゆうしん い けあの子どもを育てた
けいけんほうふ いとうしよちよう
経験豊富な伊藤所長

Q. 事業所の特徴とはなんですか？

A. 今年の五月で開所二年となる、まだまだ新しい事業所です。利用される方は重症心身障害児・者、医療的ケア児・者の方々が、全年齢に対応する小規模多機能型事業所となっております。

常に事業所内研修を行い、利用される方の状態や使用している医療機器等を看護師だけでなく職員も把握し、親御さんに安心して任せられる。と言って頂けるように努力しています。

Q. 事業所で力を入れている活動や取り組みを教えてください。

A. 理学療法士、動作法スーパーバイザーによる機能訓練に力を入れています。特に重症心身障害の方は年齢を重ねる毎に二次障がいとなる肺や内臓の疾患を発症してしま

う事が多いのです。そうならないために関節の可動域を確保し、毎日緊張をほぐし、個人の課題である部分や得意分野を伸ばすことに力を入れています。

Q. どんな事業所を目指していますか？

A. 毎日いっぱい話しかけ、活動を通して色々な経験を積み重ねています。一つでも多くの成功体験が出来たらいいな、と考えています。



まいしゅうかようび どうさほうくんれん
毎週火曜日の動作法訓練



みんな真剣に取り組んでいます

きたかみ ひだまり北上にこっと



Q 事業所の特徴とはなんですか？

A ひだまり北上にこっとは、児童発達支援のほか、放課後等デイサービスや保育所等訪問支援なども提供する多機能型事業所です。未就学児のお子さんから切れ目のない支援ができることが特徴です。

Q 事業所で力を入れている活動や取り組みを教えてください。

A 児童発達のお子さんには、児童発達支援管理責任者を中心に、個別プログラムを立てています。

個別プログラムは、制作やソーシャルス



チームワークを活かした支援を提供する後藤主任 査（右）と吉家児童発達支援管理責任者（左）

Q どんな事業所を目指していますか？

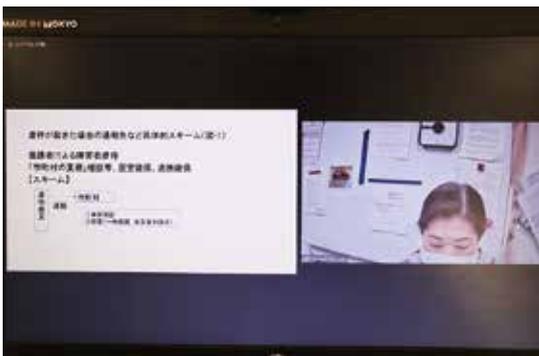
A お子さんや保護者様が、安心してご利用頂けるような環境作り、家庭での困りことなどを気軽に話して頂けるような雰囲気作りを目指しています。

キル、生活自立などに分けてアセスメントを取り、お子さん一人一人に合わせてスキルの確認をしながら、スモールステップで目標を立てるようにしています。お子さん自身が、「楽しい！」「できた！」を積み重ねることで、意欲を引き出し自信につなげていければと思っています。



児童発達支援向けに明るく広いスペースを新設

令和4年度新人職員研修開催



高橋理事長による法人理念の説明（上）と
大越主任児童指導員による虐待防止の講義（下）

- ・講義一
- ・講義二
- ・講義三
- ・講義四
- ・講義五
- ・講義六
- ・講義七
- ・講義八
- ・講義九

- 「職員としての心得について（法人規程・就業規則等）」
- 「障がい福祉サービスと事業の説明」
- 「利用児・者の特性について」
- 「重症心身障がい児（者）とはどういう人たち」
- 「個別支援計画・サービス等利用支援計画について」
- 「連絡帳・ケース記録の書き方」
- 「家族支援と利用児支援の実際」 応用行動分析とペアレントトレーニング
- 「よりよい支援に向けて～虐待防止について～」
- 「基本理念・基本方針について」

社会福祉法人岩手ひだまり会では、各キャリアに基づく研修を実施しています。今回は令和4年度新卒者及び新規採用職員に対して行いました。新型コロナウイルス感染拡大の中、四日間のリモート研修となりました。

ほごしゃ 保護者だより



みずさわ ひだまり 水沢☆きりり
ちち 父 菅原 能興さん
りようしゃ 利用者 弥太郎さん

弥太郎がひだまり水沢☆きりりにお世話になつてからもう少しで二年になろうとしています。重度の病気で生まれ、通うことができない幼稚園や保育園が無かったところ、令和二年五月に重症児デイサービスきりりがオープンしました。生まれてからほとんどの時間を親と過ごしてきた弥太郎が通うことにはじめは心配な所もありましたが、元気な姿で帰ってくる様子を見てもすぐに安心できました。

優しい職員のみなさん、経験豊富な嘱託医の先生と看護師さんに見守られながら、時には動作法、理学療法士の先生にリハビリ訓練をしていただき、少しずつ体力が付き、出来る事も増えてきたように感じます。おかげで去年入学した前沢明峰支援学校でもあまり休まずに通うことが出来ました。

多くの人に支えてもらいながら、弥太郎は元気に成長しています。

さまざまな仕事に取り組む充実した日々!!



さとう 佐藤 昂志さん (十九歳)

小学五年の時からひだまり水沢駅東(旧第二ひだまりみずさわ)に通所し、平成三十一年に前沢明峰支援学校を卒業された昂志さんは、同年四月から社会福祉法人江刺寿生会ワークセンター・生活介護事業所「わかくさ」に、月曜日から金曜日まで毎日通所をしています。

わかくさでは、主に江刺特産の銘菓を入れる箱折や組み立てを行ったり、粉碎された小さなガラス片を色ごとに選別する作業を担当しています。

また、市内の事業所を訪問してダ

ンボールを回収する仕事も行っており、細かい作業から力のいる仕事まで幅広くこなし、職員からも頼りにされているようです。

余暇時間には、スポーツや散歩などに参加し積極的に体を動かしています。また、大好きなダンスやカラオケにも興じているようで、いつも周囲を和やかにしてくれます。誰とでも明るく接することの出来る性格で、楽しく充実した日々を過ごしている様子を窺うことが出来ました。

○当時の職員より

現岩谷堂児童発達支援管理責任者 福山 博美

第二ひだまり水沢に配属となり、緊張でいっぱいなのに元気な声で挨拶してくれた昂志さん。そのおかげで緊張がほぐれたのを思い出します。友達や職員の変化にすぐに気が付く、鋭い観察力。そして、いつも笑顔で穏やかな昂志さん。これからもその笑顔で周りを和ませつつ、体調に気をつけ、頑張ってください。

つながりを大切に



それぞれの強みを生かすこと

相談支援事業所ひだまり 所長 大石 幸子

相談支援事業所ひだまりは、平成二十四年二月に開所し、間もなく九年が経過しようとしています。開所当時は、障害者自立支援法が改正された翌年でもあり、サービスを利用するすべての障害児・者にサービスマン等利用計画を立てることが求められたため、相談依頼の電話が頻繁に鳴っていた事を思い出します。その頃の私は、日々依頼される計画作りで一杯で、ご家族様が感じている困り感にまでたどり着けずしていました。当時のご家族様の中には、「なんと頼りない相談員なんだろっ、大丈夫だろうか…」と心配された方が沢山い

たのではないかと思います。しかし、そんな未熟な私を常に支えてくれたのは、利用者様やご家族様、また同僚の存在でした。手前味噌な話かもしれませんが、ひだまりの職員は皆親身になって話を聞いてくれますし、一緒に解決案を模索してくれます。また、何十年も相談経験のある上司が沢山います。これはひだまりの強みなのではないかと思っています。相談支援は決して一人でできる仕事ではありません。何でもできるスーパーマンでもありません。縦の繋がり、横の繋がりを作り、適切な時に適切な場所につなげる役割です。その為には日頃から沢山の関係機関と関わりを持つ事が大事だと考えています。

私自身、ひだまりにお世話になり十年、障がい福祉に携わって二十六年が経ちます。その間、沢山の子ども達と出会いました。長い年月の中で感じることは、「その人を見る」ということがいかに大事な視点になるかという事です。相談支援事業所ひだまりは、今ある強みを生かして、これからも利用者に寄り添った支援を行っていきます。

寄贈品

左記の方より寄贈頂きました。

- 令和三年八月十一日 阿部牧子様より 絵本二十冊
 - 令和三年九月十七日 高鷹広美様より
 - 百玉そろばん絵カード、絵本等
 - 令和三年九月十七日 佐々木瓦様より おもちや
 - 令和三年九月三十日 グルー ज्या盛岡様より
 - グルー ज्या盛岡ホームゲームチケット
 - 令和三年十月二十九日 佐藤実様より
 - ハロウィンお菓子詰め合わせ四十個
 - 令和三年十二月七日 榎公業 ウィンズ奥州様より
 - お菓子詰め合わせ二百七十個
 - 令和三年十二月九日 小原みゆき様より
 - レゴブロック
 - 令和三年十二月十日 榎ホソカワ様より
 - サンタブーツ二百七十個
 - 令和三年十二月十六日 かぎや菓子舗(代表取締役社長 阿部大司)様より クリスマスケーキ
 - 令和三年十二月二十日 榎トヨタレンタリース岩手水沢店様より 足踏み式消毒スタンド一台
 - 令和四年一月三十一日 佐藤実様より 節分のお菓子三十袋
- ありがとうございました。

編集後記

寒くて長い冬も終わり新緑の季節になりました。気持ちも新たに新年度をスタートさせましょう。(服部)



発行・編集 社会福祉法人岩手ひだまり会 広報委員会
TEL: 0197-47-4222 FAX: 0197-47-4223 URL: <http://ousyu-hidamari.or.jp>

印刷 有限会社工利フジネット社 ■岩手ひだまり会法人本部 住所 〒023-0828 奥州市水沢東大通り二丁目4番3号
『社会福祉法人岩手ひだまり会』をクワック